



医療法人 円会
瀬口脳神経外科病院

まどか

第12号

病院理念

- ・私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努めています
- ・私たちは、患者様のための心のこもった医療サービスを提供します
- ・私たちは、常に脳・脊髄疾患の専門病院として高度且つ最新の医療を提供します



撮影：中島一男

主な記事

- 院長40周年あいさつ 2
- 円会のあゆみ 3
- 飯田下伊那地域初
SCU(脳卒中ケアユニット)開設！... 4～7

- 医師紹介..... 8
- 外来診療案内..... 8
- 脳ドック案内..... 8



開院40周年にあたり

～脳卒中専門病棟開設～

院 長 瀬 口 達 也

開院40年

当病院は、当時では画期的な診断機器であったCTをいち早く導入し、県下で2番目、南信では初めての脳疾患専門病院として昭和53年6月6日に開院し、現在に至っております。

以前、開院100周年を迎えた、ある私立病院の祝賀会にご招待いただいたことがありました。公的病院が数多くある中で、100年もの長期に渡り、地域の方々へ診療を提供してきた事に驚きと、賞嘆を感じ、その偉業を成し得ている事について深く考えさせられました。医療を継続するにはその地域にとって必要とされる存在で無ければならず、そのためには医療水準を保ち、信頼を得て行かなければなりません。

当院も100年には及びませんが、40年間地域の皆様に治療を提供する事が出来ました。少なからず地域の方の信頼を得る事が出来、必要な病院と認識されていたからだと思っております。支えていただいた地域の皆様に謹んで感謝申し上げます。



脳卒中専門病棟

当院は40年間、脳・脊髄疾患治療に励んで参りました。特に脳卒中診療におきまして、常に患者さんを受け入れる体制を堅持し、高い医療水準を保ちつつ、地域の皆様に提供する事を心掛けて参りました。今年4月、更なる脳卒中診療の充実を目標として、脳卒中専門病棟(SCU)を開設いたしました。南信では諏訪赤十字病院、伊那中央病院に次ぐ開設となり、飯田下伊那では初めての病棟です。概ね脳卒中に特化した病棟となりますが、24時間365日、常に脳外科専門医師を配置して行う従来の治療、および治療方針は変わりません。大きな違いは、看護体制の充実です。いままで患者さん7人に対して1人の看護師体制でしたが、脳卒中専門病棟では昼夜を通して患者さん3人に対し1人以上の看護師を配置し、高度な専門性に加え、きめ細かい看護を行います。また専任のリハビリテーションスタッフをSCUに配置し、発症当日からの介入、継続したリハビリテーションを行う従来の体制を更に充実させ診療に当たります。

開院40年を迎え、従来の治療方針に加え、新しい診療体制を構築いたしました。この地域で信頼を得るため、また10年、20年、当院の医療がこの地域に必要とされる存在であるよう、職員一同、脳疾患診療に心血を注ぐ所存であります。

最後に、多くの患者さんを通して、当院の治療にご理解いただいております地域の先生、医療活動を滞ること無く行うため御指導、ご協力いただきます飯田市医師会及び消防をはじめとする行政、常に医療水準を保つためにサポートいただいております信州大学、名古屋大学の諸先生に心より感謝と御礼を申し上げます。

瀬口脳神経外科病院並びに医療法人円会の歩み

昭和53年	6月	瀬口脳神経外科病院開院 瀬口喬士院長
昭和59年	6月	現在地へ新築移転
昭和63年	12月	医療法人円会設立 瀬口喬士理事長就任
平成3年	6月	介護老人保健施設円会センテナリアン開設
平成6年	1月	脳ドック事業開始
平成9年	6月	円会センテナリアン新館開設 認知症専門棟・デイケア施設・円会訪問看護ステーション開設
平成12年	1月	居宅介護支援事業所まどか開設
平成12年	6月	認知症対応型共同生活介護施設 「高森町老人グループホーム大家族」開設
平成16年	6月	瀬口達也院長就任
平成16年	6月	脳卒中センター開設
平成17年	2月	国内初3.0TMRI導入
平成23年	10月	瀬口喬士理事長逝去
平成23年	10月	瀬口達也理事長就任
平成27年	4月	社会福祉法人まどか設立 特別養護老人ホーム「グランスマイル」開設
平成30年	4月	脳卒中ケアユニット病棟開設



飯田下伊那地域 **初** SCU(脳卒中ケアユニット)開設!

—— 脳卒中専門医・専従看護師・リハビリスタッフが配属された脳卒中専用集中治療室 ——

診療部長

青山 達郎

瀬口脳神経外科病院は、平成30年4月に飯田下伊那地域では初となる「SCU（脳卒中ケアユニット）」を開設いたしました。

SCU（脳卒中ケアユニット）とは

当院は今年で40周年を迎える脳神経疾患の専門病院であり、これまでも24時間365日、脳卒中を含む神経救急疾患の診療を積極的に行って参りました。その中でも脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、いわゆる脳卒中の急性期治療は時間との勝負です。救急搬送されてから治療開始までの時間をなるべく短縮することが、その後の回復にも大きな影響を及ぼします。

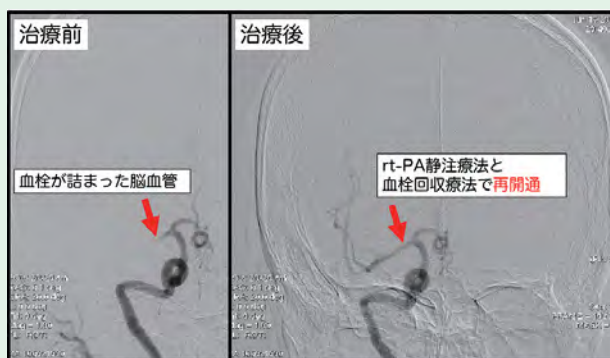
この度開設したSCUは、医師や看護師、リハビリテーションスタッフなど多職種に亘る専門スタッフが、濃厚な治療と早期リハビリテーションを計画的かつ組織的に行う脳卒中専用の集中治療室です。早期診断、早期治療には各医療スタッフの専門性に加え、息の合ったチーム医療が不可欠ですが、SCUを導入することで脳卒中治療に特化することができ、これまで以上に効率的な治療が可能となります。また、SCUで脳卒中を集中的に治療することで、死亡率の低下や入院期間の短縮、後遺症の軽減などの効果が得られることがデータとしても示されています。

脳卒中とその急性期治療について

脳卒中には、脳血管に血栓が詰まる「脳梗塞」、脳血管が破裂する「脳出血」、脳血管にできたコブ（脳動脈瘤）が破裂して起こる「くも膜下出血」があります。この中では脳梗塞が約8割と最も多い疾患です。これら脳卒中の代表的な急性期治療法をご紹介します。

1) rt-PA（アルテプラゼ）静注療法

超急性期脳梗塞に対する治療法で、発症してから4.5時間以内の脳梗塞に対して治療が可能です。脳血管に詰まった血栓を溶かす効果があるrt-PA（アルテプラゼ）という薬を静脈注射します。この治療法は4.5時間を過ぎてから投与すると出血などの合併症を起こしやすくなり、少しでも早く治療することが重要です。

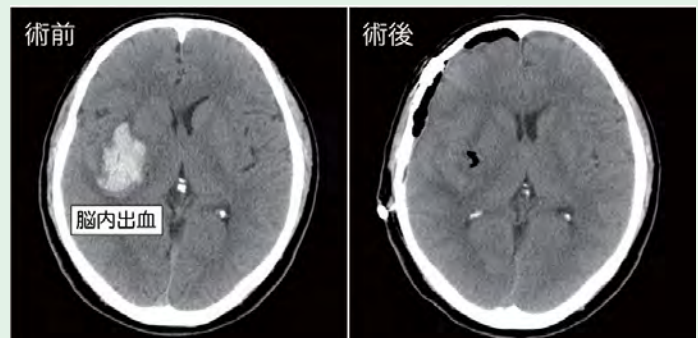


2) 血栓回収療法

これも超急性期脳梗塞に対する治療法です。足の付け根の動脈からカテーテルを挿入し、脳血管まで誘導して血栓を回収します。rt-PA静注療法でも溶けないような大きな血栓を回収することが可能です。

3) 脳内血腫除去術

出血量の多い脳出血に対しては、急性期に脳内血腫（出血して固まった血液）を取り除く脳内血腫除去術を行います。頭蓋骨に囲まれた脳内に大きな血腫があると、周りの正常な脳が強く圧迫されてしまいますが、手術で血腫を除去することで正常な脳が圧迫されるのを防ぐことができ、また、早期から積極的なリハビリテーションを始められるメリットがあります。



4) 脳動脈瘤クリッピング術

脳血管にできたコブ（脳動脈瘤）が破裂すると、くも膜下出血を起こします。破裂した脳動脈瘤の根元にクリップをかけて再破裂を防ぐ手術を行います。

脳卒中で最も重要なのは早期発見、早期治療です。当院はSCUを開設し、脳卒中の急性期治療に万全の体制を整えています。しかし、発症してから時間が経過してしまうと、rt-PA静注療法や血栓回収療法といった急性期治療を行うことができません。ですから、脳卒中の特徴的な症状を知っておくことで、少しでも早く脳卒中発症に気づいていただき、一刻も早く受診していただくことが重要だと考えております。



脳卒中の特徴的な症状

- 片側の麻痺（顔が歪んだり、片側の手足が動かしにくい）
- 言葉が出てこない
- 呂律が回らない
- めまい
- 片眼が急に見えなくなった
- 視野の半分が見えなくなった
- 突然の激しい頭痛
- 意識障害

以上のような症状があれば、脳卒中を起こしている可能性がありますので、救急車を要請してください。また、これらの症状が数分～数時間で良くなってしまうことがありますが、「一過性脳虚血発作」といって、本格的な脳梗塞の前触れと考えられています。症状が良くなったからといって様子を見ることはせず、すぐに受診してください。

日本は長寿国であると同時に寝たきりが非常に多いという特徴があります。

厚生労働省の調査によると、脳卒中（脳血管疾患）は、要介護になる原因の第1位となっており、要介護状態になる人のうち18.5%は脳卒中が主な原因となっています。また、寝たきりになる原因には骨折や認知症、心臓疾患などいろいろある中、約40%は脳卒中が主な原因です。

当院では、これまでも脳疾患の専門病院として治療・看護を行って参りましたが、この度、急性期の治療をさらに充実させるために4月より脳卒中ケアユニット（SCU）と呼ばれる脳卒中専門病棟として稼働していくこととなりました。



SCUでは、脳卒中の急性期患者さまを受け入れ出来るよう24時間体制で、患者さま3人に対し看護師1人を配置し看護にあたって参ります。

脳卒中という病気は、手術や治療が終われば病気が完治するというものではなく、様々な後遺症が残ることで日常生活に支障をきたしたり、継続的に再発の予防にも努めなければなりません。急性期においては、患者さま、ご家族にとっては突然の発症から経過の長い病気との闘

いが始まるわけです。

私たちは日々の看護実践においては、看護部の理念のもと患者さまの視点で看護を考え患者さまの立場に立った、患者さま中心の看護の提供が出来るよう努めてまいります。

今後は更に、安全でかつ迅速な対応、的確な判断が求められるため自己研鑽に努め、より質の高い看護を提供し、地域医療に貢献できるよう看護部一丸となって努めて参ります。宜しくお願い致します。



脳卒中は突然発症し、手足の麻痺をはじめ、様々な後遺症を残すことが少なくありません。突然の病気に見舞われる事によって、病気の事・これからの生活の事・入院費の事など、不安や心配事が次々に湧き出てくることがあります。また具体的に生活上の困難にも直面するかもしれません。

そんな時は患者様・ご家族だけで悩まず、病院の相談員にご相談ください。お話しいただくことで不安の軽減や、必要な支援策を一緒に考えさせていただきます。

早期の専門治療に集中して頂けるよう、専門の相談員が気持ちの面でもサポートいたします。



SCUに入院された方は手足が動かない、しゃべれない、飲みこめない、意識がもうろうとしているなどの症状を呈しています。どうやって起き上がろうか、食べようか、トイレに行こうか等、日頃行っていたこともうまできなくなっています。リハビリスタッフはそれぞれの症状を的確に見極め、リスク管理のもと、離床を促せるよう病棟看護師とともに早期からお手伝いします。



おすすめ料理のご紹介



〈スペイン風オムレツ〉 ～材料(4人分)～

卵	4個 (200g)
牛乳	大さじ 2 (30ml)
ハム	4枚 (40g)
じゃが芋	中 1個 (80g)
玉ねぎ	中 1/2個 (80g)
ピーマン	中 1個 (40g)
塩	少々
こしょう	少々
サラダ油	適量
トマトケチャップ	大さじ 1強 (20g)

今回はじゃが芋と玉ねぎを使ったスペイン風オムレツのレシピをご紹介します。具材を変えて色々な味を楽しめることもできます。ツナやベーコンを使用したり、彩りにパプリカ、トマトなどを加えても美味しくできます。これから夏野菜が美味しくなる季節です。ぜひお好みの野菜で作ってみてください。

ー作り方ー

①野菜は下処理をして1～1.5cm角に大きさを揃えて切る。ハムも同様に切る。じゃが芋は下茹でをしておく。②フライパンに油を熱し、ハム・玉ねぎ・ピーマンを炒める。玉ねぎが透き通ってきたらじゃが芋を入れ、塩・こしょうを加え軽く炒める。③ボウルに卵を溶きほぐし、牛乳・②で炒めた具材を入れ混ぜ合わせる。フライパンに油を熱したら、生地を流し入れ弱火で蓋をして焼いていく。表面が固まってきたらひっくり返し両面が焼ければ完成。お好みでケチャップをかけてどうぞ。

栄養価 (1人分)

- エネルギー161kcal
- たんぱく質8.9g
- 脂質10.0g
- 炭水化物7.9g
- 塩分1.2g

医師紹介



荻原直樹 医師

初めまして。内田医師の後任として4月から勤務しております荻原（オギハラ）と申します。前任地であります長野市では、脳卒中に対して血管内治療を中心に治療に当たっておりました。血管内治療とはカテーテルという血管の径よりも細い管を用いて病変部を治療する手技の事で、太めの針ほどの刺入点で操作が可能です。急性期脳梗塞の治療において血管内治療は標準となっており飯田の地でも、従来の治療はもちろん血管内治療においても尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

外来診療時間

受付時間	月曜日～金曜日	午前8時30分から午前11時30分まで
	土曜日	午前8時30分から午前11時まで

休 診 日

日曜日、祝祭日、第2・4土曜日、第1・3・5土曜日午後、年末年始、盆休

担 当 医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	瀬口達也 院長	青山達郎	瀬口達也 院長	吉長恒明 (信大神経内科)	瀬口達也 院長	銭坂英生 又は 他 医師
	荻原直樹 10時から	瀬口達也 院長 10時から	荻原直樹 10時から	宮入洋祐 (信州大学)	青山達郎 10時から	

担当医は変更になることがありますので、電話にてお問い合わせください

但し急患は 365 日 24 時間受け付けいたします

☎ 0265-24-6655

脳ドック ～随時予約受付中～



- ①一般コース:月～金曜日の午後に検査。後日、結果報告を実施。
- ②日帰りコース:奇数週の土曜日の午前に検査と結果報告を実施。

*お申し込み、お問い合わせは下記ドック室へお願いいたします。
ドック室直通TEL:0265-24-7667 FAX:0265-24-6776
脳ドックメール:noudokku@seguchi-nouge.or.jp
ホームページ:http://www.seguchi-nouge.or.jp/

病院だより 第12号

発 行 ■医療法人円会
瀬口脳神経外科病院
住 所 ■長野県飯田市上郷黒田218番2
発 行 日 ■2018年6月
代表電話 ■0265-24-6655
問い合わせ先 ■医療支援部